

2024年度 北京大学国際関係学院学術交流 報告書

日時：2025年1月16日（木）15:00～

会場：10号館2階 大会議室

1. スケジュール：

15:00-15:05 開会の挨拶 成蹊大学法学部 浅羽隆史 学部長

15:05-15:55 北京大学国際関係学院 王正毅 教授

題目：「世界システムにおける中米関係」（原題：「世界体系下的中美关系」）

（通訳：成蹊大学法学部 金光旭 教授）

15:55-16:05 休憩

16:05-16:55 北京大学国際関係学院 羅艶華 教授

題目：「世界公衆衛生安全保障と異質的大国間の協力」

（原題：「全球公共卫生安全与异质性大国合作」）

（通訳：成蹊大学法学部 宮島和也 准教授）

17:00-18:00 質疑応答

18:00-18:05 開会の挨拶 北京大学国際関係学院 唐士其 院長

2. 概要

2025年1月16日（木）に北京大学国際関係学院との学術交流が行われた。今年度は日中間の往来も容易になり、数年ぶりに対面での研究会を開催した。

北京大学国際関係学院・王正毅教授は「世界システムにおける中米関係」という題目で発表された。王教授は「世界システム」という理論的枠組みに基づき、中心—周辺地域、経済周期や覇権周期といった構造的観点から、近年の米中関係、特にその対立を分析された。

北京大学国際関係学院・羅艶華教授は「世界公衆衛生安全保障と異質的大国間の協力」という題目で発表された。羅教授は、新型コロナ感染症のパンデミックに代表されるような国境を超えた公衆衛生安全保障上の問題について、多国間協力、特に大国間の協力が重要かつ必須であることを述べた上で、アメリカと中国のような「異質的」大国間の協力には様々な要因により特に困難が伴うものの、他の分野に比べて公衆衛生安全保障の分野における協力のハードルは相対的に低く、過去の成功事例を参考に今後も緊密な協力を行なっていく必要があることを指摘した。

参加者は21名。質疑の時間にも活発な議論が交わされた。